

事業所名: ライフケアしかた

作成日: 令和 5 年 3 月 22 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に関して、職員の言動が威圧的な態度になっていないか、尊厳を傷つけるような言い回しになっていないかを日々振り返り改善していく。	全職員が身体拘束についての理解を深め、個人の尊厳を重んじた対応が出来るようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束廃止委員会において、禁止の対象となる職員側の具体的な行為を取り上げ、フィードバックする。</li> <li>・身体拘束・虐待防止に関する内部研修を年間2回実施。</li> <li>・職員は役職者に対し、日々起こっている事象を正確に報告する。</li> <li>・役職者は対象の職員に対し面談等を通し指導する。</li> </ul>	12 ヶ月
2	1	法人理念・運営方針を職員全員で共有し、日々実践に繋げていく。	全職員が法人理念・運営方針を正しく理解し、お互いを尊重し合える関係づくりを行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニット内の目が触れるところに掲示し共有を図る。</li> <li>・グループホーム会議を通じ、認知症の理解とケアの在り方について意見交換を続けていく。</li> <li>・理念に関する内部研修を年間1回実施する。</li> </ul>	12 ヶ月
3	28	身体機能の維持・向上を図る為に、個々の有する能力を把握し、日々のリハビリや体操等の計画に繋げていく。	ご本人の意向や自分でできること、サポートが必要なことを明確にし、多職種で日々の活動を検討、実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランのケアチェック表「5」の基本動作介助、リハビリテーション等に関するケアの備考欄等にご本人の有する能力を詳細に残し、多職種と相談しながら活動内容を計画、実践していく。</li> <li>・家族と介護計画の話し合いを行い、ケアプランの重要性を伝えると共に利用前の状況把握に努める。</li> </ul>	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月